

一般会計予算決算常任委員会
民生福祉分科会記録

平成30年12月5日

【開催日】 平成30年12月5日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後2時38分～午後4時45分

【出席委員】

分科会長	吉永美子	副分科会長	山田伸幸
委員	大井淳一郎	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

副市長	古川博三		
市民部長	城戸信之	環境課長	木村清次郎
環境課課長補佐	湯浅隆	環境課主査兼生活衛生係長	岩壁裕樹
環境衛生センター所長	池田康雄		
福祉部長	岩本良治	福祉部次長兼高齢福祉課長	兼本裕子
福祉部次長兼国保年金課長	桶谷一博	高齢福祉課技監	河野静恵
高齢福祉課課長補佐	河田圭司	高齢福祉課主査	石井尚子
高齢福祉課主査兼介護保険係長	篠原紀子	高齢福祉課主査兼地域包括支援センター所長	荒川智美
高齢福祉課高齢福祉係長	古谷雅俊	障害福祉課長	辻永民憲
障害福祉課課長補佐	岡村敦子	障害福祉課障害福祉係長	大坪政通
障害福祉課障害支援係長	岡手優子	社会福祉課長	岩佐清彦
社会福祉課主幹	平中孝志	社会福祉課主査兼生活保護係長	坂根良太郎
子育て支援課長	川崎浩美	子育て支援課課長補佐	別府隆行
子育て支援課子育て支援係長	岡崎さゆり	国保年金課課長補佐	石橋啓介
国保年金課国保係長	石田由記子	国保年金課年金高齢医療係長	三隅貴恵
健康増進課長	尾山貴子	健康増進課課長補佐兼地域医療係長	銭谷憲典
人事課長	辻村征宏	人事課課長補佐	光井誠司
人事課給与係長	林善行	財政課調整係	伊勢克敏

【事務局出席者】

事務局次長	石田隆	議事係主任	原川寛子
-------	-----	-------	------

【付議事項】

1 承認第14号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）

に関する専決処分について（民生福祉分科会所管部分）

2 議案第90号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）
について（民生福祉分科会所管部分）

3 議案第91号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）
について（民生福祉分科会所管部分）

午後2時38分 開会

吉永美子分科会長 ただいまより一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を開催します。皆様のお手元にある審査日程表のとおり進めさせていたいただきますので、議事運営に御協力をよろしくお願いします。それではまず初めに承認第14号平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）に関する専決処分について審査を行います。執行部からの説明をお願いします。

木村環境課長 それでは承認第14号平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第4回）に関する専決処分につきまして環境課から説明します。委員会資料ということで写真と裏面に平面図を載せていますので、御覧になりながら聞いていただきたいと思います。まず今回の補正につきましては、7月6日の大雨に伴い、山陽処分場ののり面が崩落したことにより、遮水シート等到大規模な破損が生じ、処分場としての機能を損なう状況となりましたので、その部分を原形復旧するものです。詳細としましては旧山陽清掃工場の事務所前に当たります「計量機」と書いていところがありますが、計量機横の進入路の一部から下の処分場に向けてのり面が大きく滑り落ちているという状況です。現時点ではブルーシートを用いて二次災害が起きないよう応急的な措置を施していますけども、一刻も早く機能を回復し、一般廃棄物最終処分場として適正な管理ができるよう早急な復旧工事を行う必要があることから、予算措置につきましては平成30年11月19日付けで専決処分をしました。つきましては、地方自治法第179条第3項の規定により、これを報告し承認を求めるものです。それでは引き続き、歳入歳出の予算の事項別明細書を御覧ください。まず補正予算書の歳出になりますけども、8、9ページをお開きください。歳出の11款災害復旧費におきまして4項厚生労働施設災害復旧費、1目衛生施設災害復旧費を新たに設定しました。3節職員手当等におきましてはこのたびの災害復旧工事に係る職員の時間

外手当26万円を計上し、15節工事請負費につきましては山陽処分場災害復旧事業の工事請負費として5,796万6,000円を計上しており、補正額の合計を5,822万6,000円としているところです。続きまして歳入になります。6、7ページの一番上の段のところですが、14款2項7目1節厚生労働施設災害復旧費国庫補助金におきまして3,560万9,000円を計上しています。これは災害により被害を受けた一般廃棄物処理施設の復旧に要する経費の一部について国の補助金交付要綱に基づき補助されるものを計上しています。補助率につきましては通常2分の1ですが、平成30年8月29日付けの国の要綱改正によりまして、平成30年7月豪雨による災害によって被害を受けた施設にあっては10分の8と引き上げられています。この3,560万9,000円ですが、取りあえず予算を組む分で先ほど言いました歳出の5,800万のうち4,451万2,000円が災害設計の概算費という内訳がありまして、そのうち10分の8に相当するものが、3,560万9,000円であるということです。続きまして1段飛ばしまして一番下の段の市債になります。21款1項8目3節衛生施設災害復旧事業債におきまして2,250万円を計上しています。こちらは先ほどの国の補助対象とならない残りの2割部分約890万円、それと4,400万何がしの災害設計概算費を出しているものの、そうは言いまして工事を進めていく中で大きな変更等があってはいけませんので、市の裁量という形で大体30%分1,360万円を上乗せしていますので、そちらと合わせての金額で2,250万円を市債で計上している状況です。そして最後に真ん中の18款1項1目1節財政調整基金繰入金につきまして、これは一般財源になりますがこのたびの補正の財源調整として11万7,000円を増額しています。この補正により財政調整基金の予算上の残高は33億3,606万6,000円になります。以上、このたび平成30年11月19日付けで専決処分しました平成30年度の一般会計補正予算（第4回）につきましての説明を終わります。よろしく御審議のほどお願いします。

吉永美子分科会長 執行部からの説明が終わりましたので、歳出全般につきまして委員から質疑をお願いします。

大井淳一郎委員 7月豪雨によってこのように崩落したということですが、判明したのと応急措置をしたのはいつでしょうか。

木村環境課長 崩落を発見したのが7月20日であったかと思います。それと復旧につきましては8月10日ぐらいだったかと思います。そちらで覆いをしています。

大井淳一郎委員 もちろん内容は致し方ないとは思っていますけれども、出し方ですよね。9月議会で補正予算を組めばよかったのではないかなと思うんですが、なぜこの11月19日の専決となったのか。今回の12月議会で議案として出すことも、どちらかの定例会に出せたのではないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

木村環境課長 まずなぜこの時期になったかということですが、先ほど申しましたとおり、大雨に関係するのが7月6日の大雨の日で、この日の前に処分場の水質調査のために採取に入りましたが、そのときには崩落は起きていませんでした。そしてたまたま7月20日にそちらに寄ったときに中が崩落しているのを発見したという状況です。その時点でもう半月ぐらいちょっと遅れているということです。今この状況もありましたのですぐ宇部の健康福祉センターにこの状況を報告して、現地の確認をしてもらいました。当然処分場としての機能を保持しなくてははいけないよという指摘もありましたので、そうは言いましても二次災害が起きてはいけないということで、ブルーシートで覆って取りあえずの応急の措置をしたということです。それと崩壊した全容がはっきりしていなかったため、草木の伐採を、シートが掛かってその上に土が乗っている状態で、草だけが伸びているという状況でしたので、この草木の伐採をすぐさま8月中に行って、それに多少の時間を要しました。それとその後すぐに災害測量設計を業者に依頼しましたが、取りあえずの概算設計を出すのがどうしても9月末ぐらいになるということで、まず8月、9月の議会に関しては到底概要も何もお示しができなかったということで9月は断念をしたという状況です。この間につきましても山口県の廃棄物リサイクル対策課を通じまして、廃棄物処理施設の災害復旧事業に対して対象施設になるかどうかという確認もいろいろして、10月の初旬には国の職員が事前の現地調査を行いましたので、それに対応したところです。その際にこの処分場の災害については補助対象になると言われたんですが、それより何よりも早急に業者を決定して少しでも早く着手をするようにという指摘がありました。その概算費用が出た段階でそのと

きにもう9月、10月ということもありますし、私どもは12月中の定例議会に議案を出したいという話をしたんですが、国や県の方も基本的には国の補助事業も30年度の事業なので、それでは非常に遅くなると。それを待って業者決定していたら年が明けての業者決定、1月、2月に決まると工事期間がないという話になりますので、一刻も早く着手するようにという話になったということです。こういった経緯もありまして最終的な復旧内容や予算額がある程度決まった段階で、今回の専決処分になったということです。

大井淳一郎委員 事実関係を確認したいんですが、専決処分をされたというと、工事が既に終わったようなイメージなんですが、実際はどうなんですか。業者決定も踏まえて、業者はもうやったんですかね。

木村環境課長 今専決が11月19日ということですが、実際のところはその後に監理室に今後の入札の依頼等を出しているところです。ちょうど今公募を掛けて終わったぐらいの段階で、最終的にはこのタイミングで資料配布等しまして、12月の末ぐらいになります。今からの話になりますので細かい話、日程までは言えませんが、12月末の入札に向けて今準備を進めているので、まだ業者が決定しているわけでもありませんし、工事にも取り掛かっていない状況です。

大井淳一郎委員 今聞くと、これほど急を要するものであれば入札をしなくてはいけないのかな、何かルールがあるんですか、入札しなさいという。専決だから業者決めて、決め方がいいか悪いか置いといて、急ぐのであればそういうこともできたんじゃないかなと思うんですが、なぜ入札ということで12月末になるんでしょうか。

木村環境課長 監理室に確認はしましたが、当然国も随契という言葉も出されたんですが、まあそうは言いましてもこちらの事業費の関係とか通常の災害の分につきましては公募をきちっと、幾ら急ぐといっても公募を取って、きちんとやれる業者を選定してからの入札で行くという形でしたので、それに従ったという状況です。

山田伸幸副分科会長 現場を見させてもらったんですが、そもそもこの現場というのは今後も利用されるということなんですか。いかがですか。

木村環境課長 今後はどうかということですが、当然今回このような状況にはなりましたが、今後復旧工事を終えましたらできるだけ早いうちに処分場を使えるように思っているところです。今日お配りしました資料の裏面になります。平面図がありますけども、崩落した場所を示していますが、そこからずっと下に「至オートレース場」と書いてあります。そのところに四角いものが見えますけど、上のところで遮水シートでもって搬入されている埋立道がありますけど、その浸出水が下に四角いところの調整池がありまして、こちらに流れてその横のポンプ場で水を浄化して、そして流しているという形になります。今年はこの下の調整池のシートも一部破損しているということで、これも保健所の指摘があって今回ほぼ同時ぐらいになるかもしれませんが工事を行うということで、こちらで下も上もきちんとなりましたら、保健所のオーケーが出ましたら、今度は埋立てが可能ならそれをしていくという予定です。

山田伸幸副分科会長 ここはもともと水害のときにいろんなごみを置いて、それは今撤去しているんですが、今後はそういった廃棄物の最終処分場になるということでよろしいのでしょうか。

木村環境課長 小野田処分場と山陽処分場という形ですので、こちらの山陽処分場に今後は埋立てをしていくという形になります。

矢田松夫委員 ここはあと何年使ってですか。使用する年数、予想です。

池田環境衛生センター所長 この山陽処分場は2015年までの埋立て予定ですが、途中休眠していたという事情がありまして、残余容量9,454立米ほど残っています。今小野田処分場もだんだん手狭になってきますので、こちらの延命を図らなくてはならないということから、こちらの改修工事と下の調整池改修工事が終わりましたら、速やかに今まで小野田処分場に埋立てをしていたものを、今度山陽処分場に切り替えて、容量を満たした段階で覆土をして閉鎖ということにします。閉鎖すれば今度2年間水質の調査をして、それで問題なければもう後はここが崩落しようが何しようが特に問題になることはないということなので、そういうところを見通して利用を図っていこうと考えています。

矢田松夫委員 もう1回言いますが、大体何年ぐらい使用されるの。ちょっと今その回答が出なかったでしょ。2015年もう過ぎたよ。

木村環境課長 一概に何年というのは非常に難しいんですが、今申しましたとおり上も下も復旧が終わりましたら、保健所と連携も取りまして、搬入が可能であれば全部満タンになるまで入れると、復旧してから5年とかになるかもしれないですが、ちょっとそれは何とも言えないところです。

矢田松夫委員 今回の補正額の合計が五千八百何ぼと書いてありますが、更に工事内容を精査して大体どれぐらいと。

木村環境課長 今からの入札になりますので、厳密な数字は申し上げにくいんですが、あくまでも災害の概算設計でいっていますので、少しばかり余裕を持っています。今から精査してこちらのシートの張り替え部分は上の段まで一杯一杯までしなくてもいいということも分かってきていますので、少なからずとも減額の方にはなっていると思っています。

矢田松夫委員 これ見ると特殊な工事でない以上、市内業者を使ってほしいということなんですが、それらのことについては申入れしているんですかね。

城戸市民部長 市内業者を含めて公募という形を取っていますので、手を挙げた業者の中から入札という格好になると思います。一般土木工事になると思いますので、恐らく市内業者の方も手を挙げられるのではないかと考えています。

山田伸幸副分科会長 これはゴムシートを下に敷くんじゃないんですか。今もう敷いてあるんですかね。

木村環境課長 遮水シート自体が本来敷いてありまして、その上にごみに乗っかっているという状況で、今それが滑りましたので写真で一部むき出しになっているところがありますが、本来その下に遮水シートが全域にあると、その一部が破れたということです。

大井淳一郎委員 入札について聞きたいんですが、入札はいつぐらいにされる

のか、それと入札の条件ですね、市内業者が恐らく落札されるだろうということですか、J Vとか組まなくても単一でできるという条件なんでしょうか。

木村環境課長 入札の先のことに関してはそこまで環境課で関与できていないのでお答えできないのですが、入札の日付は先ほど申しました12月末ぐらいに向けて今努力をしているという状況です。

城戸市民部長 大井委員からJ Vでということがありましたが、それはないと思います。

吉永美子分科会長 それでは歳入につきまして。

山田伸幸副分科会長 先ほどの説明で衛生施設災害復旧事業債が2,250万ということですが、この部分は後で国からの補填があるんでしょうか。

木村環境課長 国庫補助とは別にということでそれ以外のところを一般単独災害復旧事業というのがありますので、そちらで財源として借り入れるという形です。

山田伸幸副分科会長 ということは後で交付金で措置されるということはないんですか。災害復旧であっても。

木村環境課長 最終的に決まってくる災害の入札執行予定額から8割を除きました残りの2割の部分と一応何かが起きてはいけないということで余分を取っているところですので、ここの部分について国庫の補助金に乗ってくるということはありません。

松尾数則委員 資料を頂いていますけど、随分山陽処分場傷んでいるんですよね。これからも使う予定があると言われたんだけど、今後の管理も含めてどのように考えているのかお聞きしたいんですが。

木村環境課長 確かにこういった状況が起こらなければ、これだけの伐採は考えていなかったというのが正直なところです。ただ今後処分場として再度改修をしていくということですので、今せっかくこのようにきれいに

なって担当の職員もいますので、そちらで対応するか、若しくは余りにも広域で夏場になりますと一挙に増えますので余り乱雑にならないような形で維持管理を行っていきたいと思います。

松尾数則委員 崖が崩れたので遮水シートが傷んだということですが、遮水シートってそんなに簡単に動くものなの。ちゃんとした施工がしてあるんじゃないろ。今後下の処分場も含めて悪い影響が及ぶというようなことはないですね。

木村環境課長 本来遮水シートはかなり丈夫ということで、これは一般廃棄物の処分場の規定の中にありますので、当然その時代は認められての話です。ただ今回ちょっと規模がかなり大きいということと、中から水が大分出て押し出していたんじゃないかというようなことがあります。それと保健所にも確認をしてもらったのもありますが、一応こちらで新たなものがこの中に落ち込んだというものでありませんので、そこに対しては影響ないだろうということです。

吉永美子分科会長 よろしいですね。それでは質疑を閉じます。職員入替えのため、１５時１０分まで休憩します。

午後３時４分 休憩

午後３時１０分 再開

吉永美子分科会長 それでは休憩を閉じて次の議案に行きます。議案第９０号平成３０年度山陽小野田市一般会計補正予算（第５回）について審査を行います。それではまず執行部の説明をお願いします。

川崎子育て支援課長 議案の９、１０ページをお開きください。３款２項４目保育所費、１５節工事請負費１，６２０万円の増額は、公立保育所の全ての保育室等にエアコンを整備するための経費を補正するものです。公立保育所は、ほとんどの保育室等にはエアコンを設置していますが、一部の年中・年長児室など年齢の大きな児童では設置がない部屋があり、夏の暑い時期は遊戯室等のエアコンがある部屋に移動して保育を行うなどの対応をしながら、年次的にエアコンの整備を進めてきたところです。

しかしながら、今年の夏の異常高温を受け、来年の夏までに全部屋のエアコン設置が完了するよう、このたび補正を行い早急に整備に取り掛かりようとするものです。具体的な整備場所は、お配りしている資料を御覧ください。1枚目、厚陽保育園の年中児室、ここに今エアコンがありませんので新しく整備します。2枚目、出合保育園の年長児室と事務室、こちらに新しくエアコンを設置します。そして、3枚目ですが、日の出保育園です。全部屋にエアコン設置はされていましたが、老朽化により効かなくなった機器の更新として、1歳児室・2歳児室・年少児室の3部屋を新しい機器に更新します。合わせて6部屋のエアコン整備を行うものです。エアコン設置の際には電気改良工事が必要となりますので、それを見込んで、予算は消費税を含めて一部屋270万円として計上しています。

この財源として、歳入の7、8ページをお開きください。21款1項2目民生債、1節児童福祉債、保育所施設整備事業債1,290万円を充て、残りは一般財源です。また、3、4ページをお開きください。繰越明許費です。3款2項公立保育所空調設備整備事業1,620万円を計上しています。3園の空調設備工事は今年度内の完了を目指していますが、全国的に学校施設のエアコン設置が進む中で、機器の品薄などにより工期変更等があった場合には来年度へ繰越しができるよう、繰越明許を設定しています。

吉永美子分科会長 執行部からの説明が終わりましたので、委員の質疑を受けたいと思います。まず、歳出に絡んで工事請負費ですね。資料3枚出ましたのでこのことについて質疑があればお願いします。

大井淳一郎委員 今回小・中学校にも同じように出ています。もちろん小・中学校を中心に予算組みされているところですが、本会議で質問があったのは発注方式は一括だということがありました。これは小・中学校で一括なのか、それとも保育所も合わせて一括なのかまず確認したいと思います。

川崎子育て支援課長 学校施設と分けて保育園6部屋の一括発注を考えています。

大井淳一郎委員 その際の熱源は今どのようなことを考えているのでしょうか。

電気とかガスとかそういったことです。

川崎子育て支援課長 3園ともこのたび整備するそれ以外の部屋は全て電気のエアコンが設置されていますので、このたび設置する部屋も同じように効率を考えて電気を考えています。

大井淳一郎委員 エアコンの形態ですが、よくある家庭のようなボコンと備え付けるものなのか、それともこのような天井に備え付けの形なのか。多分園によって違うのかなと思ったんでそこも含めて。

川崎子育て支援課長 機器自体は家庭用というのではなくて業務用ですが、施設に埋め込み式ではなくて外付けのものと理解しています。（「全部ですか」と呼ぶ者あり）全部です。

矢田松夫委員 どんな形状のものを設置するのかと言えば、業務用であり、はめ込み式でないというのならその形のものを出さないといけませんよ。大体こういうものを付けると。今ないんですか。

川崎子育て支援課長 実施設計の最中で、まだお示しできるものがないという状況です。

矢田松夫委員 計算が立たんでしょう。どういうものでどういう金額が掛かっているか。ただ金額が先に来たのか、形が後に来たのか。普通セットで来るでしょ。違うんですかね。

川崎子育て支援課長 これは建設部関係課の職員の協力を得て自前で設計等をこれから行うことになっていますが、事前に施設を担当職員に見ていた中で埋め込み式は経費等からみても考えられないということで、外付けの業務用ということで大まかな概算としてこのたび予算は計上させていただいているところです。

矢田松夫委員 それでは質問を変えますが、日の出と出合は保育所の再編計画というのがあり、出合の場合は既に決まっていますが、これはレンタルですかね。あるいはその永久にそこに取り付けるものなのか。耐用年数を考えて中古品、新品いろいろありますけど、設置の対応の仕方。要す

るに再編計画までのものを設置するのか、永久的にまた今度要らなくなったらよそに持っていけるようなものを付けるのか。どういう形態ですかね。

川崎子育て支援課長 確かに再編の対象施設もありますので、その辺りも建設部の担当職員と協議はしたんですけども、レンタルというのはなかなか機器の導入も難しいということもありまして、このたび付けるのは新規の備品を付ける予定です。再編後にはどこかの施設に移設ができるといいなということでまだ正確な計画は今の時点ではありませんが、このたび付けるのは新規のものを付ける予定です。

矢田松夫委員 川崎課長の回答からすると、リースではないということですよねですかね。

川崎子育て支援課長 リースではありません。

矢田松夫委員 普通もったいないでしょ。まだ嫁行く先も分からないのにそこに投資するということは考えでしょ。もうゴールは決まっているんですよ、廃園は。普通ならリースで考えるでしょ。そして買取りしてその後がまだ分かんのにどっかに持っていくだろうという回答ぐらいでしょう。駅南の土地の地質調査もする段階でしょ。そしたら普通5年間のリースとか契約するでしょ。新品買いますか。

川崎子育て支援課長 リースの協議はしました。この期間でこの部屋のリースというのは適切ではないという判断です。

大井淳一郎委員 矢田委員がそのようなことを言われるのは、今は方針が変わっているかもしれませんが、埴生小が買取りじゃなくてリースを検討しているということがあって、当時の答弁との整合性を言われていると思うんですよね。その辺は今現状どうですか。

別府子育て支援課課長補佐 今、公用車とかはリースをよくやっているんですが、リースをやる場合は基本的には5年とか6年の長期継続契約を交わします。これはある程度の長い期間でないと業者が元が取れない。逆に言えば、そのくらい長い期間であれば購入より効率的な使用ができると

ということでそれぐらいの期間でリースをしています。山陽の保育所については34年度供用開始を目指していますので、それまでの間で考えたから3年から4年くらいしかないということで、リースも割高になるという事情がありました。それから新規で購入で付けるという方向性ではあるんですが、これにつきましては、御指摘のように出合については34年度からは使用しないという状況がありますので、その後は新しい保育園に移設ということも考えています。

大井淳一郎委員 実は埴生小って来年、再来年…（「もう1年くらいしかない」と呼ぶ者あり）なんですよね。それでもリースで対応するんですよね。5年というのがちょっと。5年以外にもあるんじゃないかと思うんですけど。埴生小のことは担当外なので答えにくいかもしれませんが、その整合性で矢田委員が言われていると思うので。

吉永美子分科会長 私は短いから埴生小学校はリースにしたんだと思っていました。もったいないから、短い期間だしと思っていたので、言われていることと、思っていることが違うというのが疑義を感じています。

山田伸幸副分科会長 先ほど新しい保育所にということを言われたんですけど、新しい保育所の場合は付けるにしても埋め込み式でやられるんじゃないんですか。そのほうが絶対効率的だろうし、その部分だけよそから持ってきてある部屋だけ違う形のものを入れるのは非効率のような気がするんですけど。

別府子育て支援課課長補佐 山陽地区の保育所については実施設計を進めているところで、機器の設備の協議は今からです。まだ具体的にどういう設備を入れるというのは決まっていますが、一括集中管理の埋め込み式、当然そういう選択肢もあると思うんですが、今のところは各部屋に個別のものを設置しようという大まかな方向性を持っていますので、必ずしも埋め込み式ありきで進めているというわけではありません。

矢田松夫委員 話の継続ですが、新規の取付けとリースでの設置とどちらがどういうふうに工事費が掛かるのか出してください。安いほうがいいでしょう、そっちのほうが。私は納得します。ただ単に新しく取り付けて、今回1部屋が大体270万ですよと言うんじゃないくて、そういう計

算されたんでしょう。

川崎子育て支援課長 リースと新規取付けの協議をしたんですけども、済みません、私が記憶を思い起こせずにお答えできずに大変困っています。後ほど確認してお答えするのでよろしいでしょうか。

矢田松夫委員 すぐ採決する場じゃないから、できれば資料出してどっちがどうなのか比較して執行部がこうしましたというのが普通じゃないですか。今日もらったのはどこに取り付けますよということだけで、取り付けるにはどれくらい掛かりますよと。掛かる金額をこれと比較したら新規のほうがよかったですよという説明なら話はそれで終わりなんですよ。付けることは間違いなし。

吉永美子分科会長 試算をしたのは子育て支援課ですか。

川崎子育て支援課長 積算は電気主任担当の職員が自前でやっているんですが、設計等について具体的にお示しできるまでの積算は進んでいませんので、今お示しできる資料としてはこの図面ぐらいということで、今日配らせていただきました。予算についても本当に大まかな予算で、先ほど説明しましたとおり来年の夏に間に合わせるために早急に承認をいただきたいということで、この12月に提出させていただくには、この大まかな270万という概算でしか提示できないというところで、それに係る細かい数字の資料はまだないという状況です。

吉永美子分科会長 その270万というのは誰が出してきたんですか。どちらが出してきたんです。

川崎子育て支援課長 これは市の電気関係の職員です。

吉永美子分科会長 電気関係の職員はどこにいるの。

川崎子育て支援課長 下水道課です。

吉永美子分科会長 そこから一部屋当たり270万円ですねという。それと先ほどのリースとの違いを出してきたのはどちら。

川崎子育て支援課長 リースとの違いについてきちんと数字は資料でありませんが、協議の中で下水道課の職員と協議しました。

吉永美子分科会長 その資料がないと協議しようがないですね。

川崎子育て支援課長 資料をもってではなく、口頭の協議です。

山田伸幸副分科会長 一部屋が270万と聞いて非常にびっくりしたんですよ。自治会館に、自治会館も相当な広さがあるんですけど、それに200ボルトのものを2基付けたんです。そのときの金額が40万円でした。これ非常によく効いて、1台でも良かったかなというぐらいの効きを示した機器なんですけど、余りにも270万円というのが高い金額で驚いているんですけど、何か特別なエアコンなんでしょうか。それとリースというのは大体エアコンの場合は6年リースを普通するんですよね。リースするほうが無駄で、工事現場事務所なんかで使うようなレンタルというのも、私は存在するんじゃないかと思うんですけど、そういう検討は今の答弁だとしていないということですよね、原課では。改めて検討し直すべき内容じゃないでしょうか。

川崎子育て支援課長 まず金額につきましては、どの施設もエアコンを設置するだけではなくて、電気改良工事が必要になるということです。ケーブルのサイズをアップしたり、ブレーカーを増やすなどといった工事が含まれますので。また概算ということで、入札できる範囲の金額ということでの見積額です。

矢田松夫委員 例えば出合保育所の事務室は家庭用でできるんじゃないかね。4坪、畳何枚かね。普通だったらそこに家庭用の五、六畳用とか。七、八万ぐらいですよ、全部工事費入れて。違いますか。園長なんかはずっとここにおるわけじゃないしね。暑いからって中におるかもしれんけど、普通これだったら事務室の13平米ぐらいだったら、家庭用でできると思うんだけどね。

川崎子育て支援課長 270万というのは全部の平均でということですので、この部屋に270万ということではありませんし、新たに付けるには先

ほど言いましたケーブルを太くしたりする電気改良工事が当然必要になるということです。

山田伸幸副分科会長 私の言った40万円というのは、そういうのを全部含めてですからね。それにしても高すぎるなと思いますよ。だから子育て支援課では残念ながらそういった知識がないかもしれませんが、余りにも現実とかけ離れた金額でしかないと思いますよ。

吉永美子分科会長 先ほどリースのほうが高いという発言を持ってきたのはやっぱり電気の、下水道課の職員からということですか。

川崎子育て支援課長 リースについて明確なお答えができずに申し訳ありません。金額の積算についても専門技師で積算した数字ですので、その辺りをもう一度確認して、リースのことについてもお答えさせていただければと思います。

吉永美子分科会長 例えば日の出保育園は老朽化のために更新だということで、老朽化ということは同時にほかの部屋も付けたんでしょうか。この3部屋だけが先に傷んでしまって、やり直しをしなければいけないという考え方でいいですかね。

川崎子育て支援課長 日の出保育園ですか。（「はい」と呼ぶ者あり）1歳児室は昭和60年ぐらいに設置したかなり古い機器だと聞いています。昨年度まで何とか効いていましたが、今年の夏には効いたり、効かなかったりという状態になってしまったということです。2歳児と年少児の部屋は10年ぐらい前によそから譲り受けた中古品を設置したものです。これも昨年まではかつがつ効いていましたが、今年の夏は効いたり、効かなかったりという状態になったということです。

吉永美子分科会長 じゃあ、年中とか年長のほうが新しいということですね。もう一つは、厚陽保育園は年中児室に今回付くということで、今までなかったということは、年長の部屋は付いているということですか。

川崎子育て支援課長 図面を見ていただくと分かりますが、もともとここは年長児室でした。今、年長児室は遊戯室の一部を使用して保育を行ってい

ます。一番右側のゼロ歳児と1歳児室、ここがそもそもゼロ、1、2歳の部屋で建設したもので、2歳児を年齢に応じた保育ということで部屋を動かした関係で、今は年中児室ということになっています。

吉永美子分科会長　今回事故があったのも小学校1年生ということで、体がまだ暑さに耐えられる体になっていないということは、それ以上にまだ体ができていない子どもたちだったわけですが、特に大きくなくても事故とかはなかったんですか、大丈夫だったんですか。軽い熱中症になってしまったとか、そういうような事故とかなかったですか、これまで。

川崎子育て支援課長　そういった報告は受けていません。エアコンが付いていない部屋でも暑いときには、遊戯室にはエアコンが付いていますので、そこで保育を行うなどして対応していました。

吉永美子分科会長　工夫してこられたんでしょうね。分かりました。先ほどの資料はそんなにたたないうちに出ますか。課長が出しますとおっしゃったのは出るんですか。

川崎子育て支援課長　資料として配るのは難しいと思います。口頭での説明になろうかと思いますが、リースの件に関して。口頭で回答させていただければと思います。

矢田松夫委員　比較用だから口頭では駄目ですよ。

川崎子育て支援課長　今確認しましたら担当職員が現場に出て、今いないということですので、戻りまして確認でき次第になろうかと思うんですが。先ほども申しましたようにまだ設計ができていませんので、大変申し訳ありませんが、お配りできる資料というのはないと思います。教育委員会でも資料はないと聞いていますので、口頭で説明させていただきたいと思います。

矢田松夫委員　口頭でも文書で出るでしょ、比較。比較ないのに新規に付けるかという意味が分からん。どうですかね。

川崎子育て支援課長　それも併せて専任の職員と確認させていただければと思

います。

矢田松夫委員 期待して待っています。下津はもう付けちよるから今回出ていないんですが、例えば園長室の空調はどうなっていますか。今回新しく取り付けるような状態で園長室があるんですか、家庭用のが付いているのか、どちらですか。

川崎子育て支援課長 園長室はありませんが、事務室のことでしょうか。事務室には付いています。

(発言する者あり)

吉永美子分科会長 だから下津の事務室は家庭で付けるようなものになっているんじゃないんですかと、確認してほしいということでしょう。おうちの部屋に付けるようなものになっていませんか、確認できますかということです。

川崎子育て支援課長 大変理解が悪くて、下津保育園の事務室が埋め込み式なのか、家庭用なのか、申し訳ありません、私の記憶にないんですけど、下津は比較的エアコンの故障等はなく、順調に動いています。埋め込み式か家庭用かはすぐお答えができないところです。

別府子育て支援課課長補佐 先ほどの私の答弁の中で、購入してそれが不要になった場合に移設も当然考えているということを申し上げました。私の説明では、新たに建設を進めている保育所への移設を想定して、そういうお答えになっていたと思うんですが、保育所に限らずいろんな施設、学校とかほかの保育所以外の施設への移設も可能ということです。

吉永美子分科会長 あとの建物をどう使うかというところでもまた変わってきますよね。あれを残していけば地域に使ってもらおうとかになれば、そのまま置くし、それは流動的で全然分かりませんよね。

松尾数則委員 電気の容量で問題はないですよ。例えばキュービクルが要るとかいうようなことはないですね。特に日の出なんかは三つ付くんですけど、そういう問題はないでしょうか。

川崎子育て支援課長 キュービクルを新たに作らないといけないという大掛かりなことはないと理解していますが、先ほど言いましたとおり、ケーブルを太くしたり、そういった電気工事が必要になると聞いています。

吉永美子分科会長 今回の宿題を除いて歳出はよろしいですね。次の歳入、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それではリースの料金と下津の事務室がどういう形のものを付けているか確認をしていただくという2点を宿題にして、次の議案に行きたいんですが、その間に確認をお願いします。それでは職員入替えのため、45分まで休憩します。

午後3時41分 休憩

午後3時45分 再開

吉永美子分科会長 それでは休憩を閉じまして一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を再開します。議案第91号平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）について審査を行います。ではまず初めに人事課より人件費について説明をお願いします。

辻村人事課長 それでは議案第91号平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）のうち、人件費全般に係る補正について説明します。お手元に一般会計補正予算の説明資料が、A4の横になっているものがあると思いますが、その3ページ目、一般会計の全体について説明させていただければと思います。その一番下の総計の部分を御覧いただければと思いますけども、このたびの人件費の補正は人事異動に伴う調整と決算を見込んでの給与等の調整を反映したものです。一般会計全体では1,143万5,000円を減額し、補正後の額を39億6,186万5,000円とするものです。費目ごとの補正額の内訳は、2節給料については5,719万1,000円を減額するもので、この主な要因は育児休業等に係る給料の減額等によるものです。3節職員手当等については7,369万9,000円を増額するもので、主な要因としましては今年度の早期退職者分の退職手当の増と時間外勤務手当の増によるものです。次に4節共済費については1,795万7,000円を減額するもので、その要因としましては、育児休業等による事業主負担額の減

額等によるものです。次に 7 節賃金については臨時職員の勤務実績から 9 9 3 万 3, 0 0 0 円を減額するものです。最後に 1 9 節職員福祉費については 5 万 3, 0 0 0 円を減額するもので、人事異動に伴う調整となっています。

吉永美子分科会長 今人事課から説明がありましたが、質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり） それでは 3 時 5 5 分まで休憩します。

午後 3 時 4 8 分 休憩

午後 3 時 5 4 分 再開

吉永美子分科会長 それでは休憩を閉じまして民生福祉分科会を再開します。
次の審査番号④、障害福祉課から歳入に係る説明をお願いします。

辻永障害福祉課長 議案の 1 6、1 7 ページをお開きください。2 0 款諸収入、4 項雑入、3 目過年度収入の補正前の額ゼロ円に 4 万 1, 0 0 0 円を増額して、4 万 1, 0 0 0 円にするものです。これは国庫負担金の精算に伴い不足となった平成 2 9 年度特別障害者手当等給付費について精算分の過年度収入 4 万 1, 0 0 0 円を今回の補正額として算出しました。

吉永美子分科会長 説明が終わりましたが、委員の皆様から質疑はありますか。
（「なし」と呼ぶ者あり） 次の（3）特定財源を含む歳出に係る説明です。

岩佐社会福祉課長 3 2、3 3 ページをお開きください。3 款民生費、1 項社会福祉費、1 目社会福祉総務費、2 3 節償還金、利子及び割引料を 4 7 5 万 5, 0 0 0 円増額するものです。この償還金 4 7 5 万 5, 0 0 0 円のうち 3 7 9 万 7, 0 0 0 円は、平成 2 8 年度、2 9 年度に実施した臨時福祉給付金事業の実績額による精算に伴う償還金です。償還することとなった主な原因は、給付事業に係る事務費の減額によるものです。あわせまして、同節償還金 4 7 5 万 5, 0 0 0 円のうち 9 5 万 8, 0 0 0 円は、生活困窮者自立支援事業の実績額による精算に伴う償還金です。償還することとなった主な原因は、平成 2 9 年度には住宅確保給付金の対象者がなく 1 件も給付していませんので減額としたものです。

桶谷福祉部次長　続きまして、２８節繰出金のうち国民健康保険特別会計繰出金は２，５５３万１，０００円減額するものです。内訳は保険基盤安定繰出金が１，１６０万４，０００円の減額、人事異動等に伴う職員給与費等繰出金が１，４４３万１，０００円の減額、その他一般会計繰出金として国民健康保険負担軽減対策繰出金が５０万４，０００円の増額となっています。これらは、いずれも額の確定に伴うものです。このうち、保険基盤安定繰出金と国民健康保険負担軽減対策繰出金につきましては、特定財源があります。１２、１３ページをお願いします。まず、保険基盤安定繰出金の特定財源として、中段の１４款１項１目民生費国庫負担金、１節社会福祉費国庫負担金で、国民健康保険基盤安定費を１２万６，０００円増額しています。続きまして、１４、１５ページをお願いします。上段の１５款１項１目民生費県負担金、１節社会福祉費県負担金のうち、国民健康保険基盤安定費を８８３万円減額しています。また、国民健康保険負担軽減対策繰出金の特定財源として、同節の国民健康保険負担軽減対策費を２５万２，０００円増額しています。これらはいずれも額の確定に伴うものです。

河田高齢福祉課課長補佐　高齢福祉課分について説明しますので、議案３２、３３ページをお開きください。繰出金のところの介護保険特別会計繰出金ですが、こちらは介護保険特別会計への繰出金を１，１６２万１，０００円減額するものです。この内訳としましては、平成２９年度決算の確定と平成３０年度のシステム改修事業に係る補助金の内示等に伴う事務等繰出金の精算としまして差引き１，２０７万８，７０８円の減額、人件費の調整により差引き４５万７，９５３円の増額となっています。

辻永障害福祉課長　２目の説明をさせていただきます。議案の３２、３３ページをお開きください。２目障害者福祉費の補正前の額１８億１，８６１万３，０００円に３，１７５万３，０００円を増額して、１８億５，０３６万６，０００円にするものです。本市では現在圏域障害者相談支援事業所である宇部市内の３事業所に委託し、夜間や休日を含めた２４時間体制を確保することにより緊急時の相談支援を行っています。しかし宇部市と来年度以降の圏域における相談支援について協議する過程で、より迅速・確実に相談支援に対応するため本市内での夜間や休日を含めた２４時間体制の確保が来年度以降実施できないか検討しました。その結果、

本市においても来年度当初から夜間や休日を含めた24時間体制による相談支援を相談支援事業所のぞみで実施する方向で調整しましたので、相談室等の整備に必要な経費を今回の補正額として算出しました。内訳ですが11節需用費、修繕料の6万2,000円は電話回線1回線増設と事務所屋内のライト2か所取替えに伴う修繕料です。また18節備品購入費、庁用器具費33万9,000円は携帯電話2台や固定電話、デスクライト、書庫等を購入するための費用、機械器具費10万8,000円はパソコン1台を購入するための費用です。次に23節償還金、利子及び割引料について償還金を3,124万4,000円増額するものですが、これは平成29年度決算に伴う自立支援給付費及び障害児給付費の国費県費負担金、障害者医療費の国費負担金、自立支援医療費（育成医療）の県費負担金、地域生活支援事業の国費県費補助金の交付超過に係る精算に伴う償還金です。なお今回の補正予算の財源としてはいずれも一般財源となります。

河田高齢福祉課課長補佐 続きまして3目高齢者福祉費、23節償還金、利子及び割引料の償還金2万6,000円の増額は、平成29年度の一般会計における介護保険事業費補助金の精算に伴いまして県からの超過交付金を返還するための償還金となっています。

桶谷福祉部次長 続きまして、4目後期高齢者医療費は141万8,000円増額し、補正後の額を11億7,212万7,000円とするものです。内訳は、19節負担金、補助及び交付金においては、平成29年度精算分として療養給付費負担金を441万5,000円増額しています。続いて34、35ページをお願いします。23節償還金、利子及び割引料では、平成29年度のはり・きゅう施術費補助事業に対する広域連合からの補助金精算分として償還金を3万2,000円増額しています。また、28節繰出金では、後期高齢者医療特別会計繰出金を302万9,000円減額するもので、内容は人事異動に伴う職員給与費等繰出金です。

川崎子育て支援課長 子育て支援課関係分について説明します。36、37ページをお開きください。3款2項2目児童措置費、補正額は8,433万6,000円の減額です。13節委託料のうち、地域子育て支援センター事業費745万3,000円の減額は、昨年度まで事業を委託して

いた五つの保育園のうち1園が昨年度末で事業をやめられたため、今年度の1園分の委託料を減額するものです。その下、保育所運営費（私立分）5,000万円の減額は、決算を見込んで補正するものです。19節負担金、補助及び交付金、地域型保育事業運営費負担金1,500万円の減額、20節扶助費、児童手当2,000万円の減額、児童扶養手当1,000万円の減額、乳幼児医療助成費（市単独分）600万円の増額は、いずれも決算を見込んで補正するものです。23節償還金、利子及び割引料、償還金1,211万7,000円の増額は、平成29年度の児童手当、児童扶養手当、子ども・子育て支援交付金など、五つの補助事業の精算に伴う返還金です。

続いて、3目ひとり親福祉費は補正額145万7,000円の増額です。38、39ページをお開きください。19節負担金、補助及び交付金、ひとり親家庭高等職業訓練促進・修了支援給付金300万円の減額は、決算を見込んで補正するものです。23節償還金、利子及び割引料、償還金445万7,000円は、平成29年度母子家庭等対策総合支援事業補助金の精算に伴う返還金です。

8目子育て総合支援センター事業費です。補正額は102万3,000円の増額で、11節需用費、光熱水費のガス代について、今年度開所した施設であり予算編成時には実績がなく見込みが難しかったことから、このたび決算を見込んで補正するものです。

続いて、特定財源について説明します。歳入12、13ページをお開きください。12款2項1目民生費負担金、2節児童福祉費負担金、保育所運営費負担金200万円の減額は、私立保育所に入所する児童の保育料について、決算を見込んで補正するものです。14款1項1目民生費国庫負担金、2節児童福祉費国庫負担金の児童扶養手当給付費、児童手当、子どものための教育・保育給付費、合計で3,525万3,000円の減額、そして次の14款2項2目民生費国庫補助金、2節児童福祉費国庫補助金の子ども・子育て支援交付金、母子家庭等対策総合支援事業費、合計で473万5,000円の減額は、いずれも先ほど説明しました決算を見込んだ歳出の補正に伴う特定財源の補正です。

14、15ページをお開きください。15款1項1目民生費県負担金、2節児童福祉費県負担金の児童手当、子どものための教育・保育給付費、合計で2,904万円の減額、15款2項1目民生費県補助金、2節児童福祉費県補助金、子ども・子育て支援交付金248万5,000円の減額、これらも先ほど説明しました決算を見込んだ歳出の補正に伴う特

定財源の補正です。

岩佐社会福祉課長 40、41ページをお開きください。3款民生費、3項生活保護費、2目扶助費、20節扶助費を70万円増額するものです。これは、平成30年6月に生活保護法が改正され生活保護世帯の子どもが大学等へ進学する際に新生活の立ち上げ費用として一時金を支給することとなり、平成31年4月に大学等へ進学を予定している者への扶助費を増額するものです。なお、この事業費の4分の3が国庫負担金として歳入されます。国庫負担金につきましては、12、13ページをお開きください。14款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、3節生活保護費国庫負担金として事業費70万円の4分の3の額、52万5,000円を計上しています。

吉永美子分科会長 それでは質疑を受けたいと思います。まず32、33ページ。

山田伸幸副分科会長 のぞみ園で相談支援業務をやるということですが、夜間にも対応することになるんですが、今までそういった実例とか経験とかある方がいるんでしょうか。

辻永障害福祉課長 夜間での経験をしている者はいません。

山田伸幸副分科会長 現在夜間の勤務は何人で泊まり勤務しているんでしょうか。

辻永障害福祉課長 相談支援事業所については現在、平日日中の勤務対応になっています。

山田伸幸副分科会長 先ほど24時間にも対応するという事で説明されたと思うんですけど、新しく夜間にも常駐される、若しくは携帯電話でされるということでしょうか。

辻永障害福祉課長 携帯電話を2台購入するところについては、そのとおり夜間に携帯電話を持って、緊急時に対応するというやり方になるのかと思います。

吉永美子分科会長 それでは３４、３５ページ。次の３６、３７ページひとり親福祉費まで。

大井淳一郎委員 地域子育て支援センター１園取りやめということですが、焼野だったと思うんですが、理由とかもあるんでしょうか。

川崎子育て支援課長 施設は焼野保育園です。理由としまして施設からお聞きしたところによりますと、センターに専任の職員を置かないといけないというところで職員の確保が難しくなったというのが一番大きな理由と聞いています。

大井淳一郎委員 今後市としてセンターを増やす方向なのか、特に山陽地区には余りないので、そういった方針というものはあるんでしょうか。

川崎子育て支援課長 今年度は４か所の保育園に委託して実施しているのと今年度開所したスマイルキッズ、合わせて五つの地域子育て支援センターがありますが、今後増やしていくのかどうかという明確な方針は持っていないところです。スマイルキッズを拠点としまして公民館とかの子育て講座そういったところも、いろんなところと連携を取りながら子育て支援を進めていきたいと考えているところです。

山田伸幸副分科会長 ３款２項２目２０節扶助費の児童手当、児童扶養手当がかなりの減額になっているんですが、決算を見込むということでは、これに該当される方がこんなにも少なくなるということでしょうか。

岡崎子育て支援課子育て支援係長 人口減少で対象児童等も減っていますので現在のところ約７００人程度減っている形になっていますので、それを見込んでの減額になります。児童扶養手当に関しても受給者自体は年度で増減のばらつきがあるんですけども、同じく人口減少に伴って対象者も減っているというところで減額になります。

山田伸幸副分科会長 その辺は予算のときにある程度これまでの実績を踏まえて予算計上されていると思うんですけど、このたび減が非常に大きいので単純に人口が減ってどうのこうのという数字じゃないように思えるん

ですけど。対象者がそんなに減ったということによろしいんですか。

別府子育て支援課課長補佐 対象児童の減少というのももちろん一つあります。予算を立てるときにそういう減少を見込んで予算を立てています。児童手当については、前年度予算から比べたら30年度予算はたしか2,000万ぐらい減額させていたと思います。この2,000万の減額というのが確かに大きい金額ですが、分母が10億円ありますのでそういうところを考えるとパーセントにすると2%ぐらいの減額補正ということになっています。

吉永美子分科会長 先ほど焼野保育園が中止された原因として、専任職員の確保が難しいということですが、事業費としては市から出ているので、お金が苦しいということではなくて、人間がいないということですね。そうなってくると、ほかの4園というのはどうですか。

川崎子育て支援課長 ほかの4園については専任職員の確保はできていると聞いています。

吉永美子分科会長 これから中止になる心配は今のところないということでしょうか。

川崎子育て支援課長 はい。今のところ継続と聞いています。

山田伸幸副分科会長 39ページのひとり親家庭高等職業訓練促進・修了支援給付金が300万円の減ということですけど、実際に今受けられている方はどれくらいいて、どれぐらいを見込んでこれだけ減額になるということが分かっているのでしょうか。

別府子育て支援課課長補佐 現在促進給付金を受けられている方は全部で8名いらっしゃいます。当初の見込みとしては14名を見込んでいました。継続の方が6名、新規の方を8名という見込みをしていました。実際のところが継続の方が4名、新規の方が4名ということ。人数が減ったということが一つと、これは課税世帯か非課税世帯かで給付金の額が変わってきます。当初は課税の方を3名、非課税の方を11名という見込みをしていましたが、実際には課税の方が5名で、非課税の方が3名、非

課税の方が減ったという状況もあって減額となっています。

山田伸幸副分科会長 このひとり親家庭高等職業訓練というのはどういったところでされているのでしょうか。どういった内容の訓練を受けているのでしょうか。

別府子育て支援課課長補佐 現在この制度を受けられている方は全員が看護学校に通われている方です。

吉永美子分科会長 子育て総合支援センター事業費。

大井淳一郎委員 今回光熱費が読めなかったというんですがその理由と、ガスは都市ガスだと思うんですが、どちらですか。

別府子育て支援課課長補佐 ガスは都市ガスです。この光熱水費というのは館を冷暖房するため、熱源はガスを使っていますので、そのためのガス代が燃料費ではなくてここの施設では光熱水費に挙がってくるということです。当初はガス代を73万円ぐらいの見込みをしていましたが、実際には夏場なんかは1か月で20万円のガス代が掛かるという状況がありました。冬場は更に高額になるということが見込まれますので、予想を大きく上回ってしまったという状況です。

吉永美子分科会長 次のページの扶助費。

山田伸幸副分科会長 進学準備給付金で大学に進学というんですけど、生活保護の方から大学まで進学されるという家庭はあるのでしょうか、実際に。

坂根社会福祉課主査 生活保護を受給されている方でも大学に行くという場合は奨学金を受ければ、生活保護としては外れますけれども行くことはできます。

山田伸幸副分科会長 実績としてそういうのはあるのでしょうか。

坂根社会福祉課主査 実績で現在二人ほど通っていらっしゃいます。来年予定では3名を見込んでの予算としています。

山田伸幸副分科会長 今回の説明ですと生活保護から外れると説明されたんですけど、それは奨学金をもらうからということなんですか。通常考えると奨学金だけで全部賄うというのは無理なんで、かなりアルバイトも含めて頑張らないとできないと思うんですけど、そういう支援は生活保護からできないということでしょうか。

坂根社会福祉課主査 おっしゃるとおりです。

吉永美子分科会長 給付型奨学金が始まっているから状況って変わってきますよね。給付型で奨学金をもらうんじゃないで、返さないでいいだけ。これもやっぱ外れるんですか。（「はい」と呼ぶ者あり）給付型でも外れるんだ。それともう1点、来年3名分と言われたけど準備給付金は70万ということは3で割れんけど、どう計算したらいいんでしょうか。

坂根社会福祉課主査 支給額が大学等に行かれる場合、進学のため転居される場合は30万円、現在の自宅から通学される場合は10万円ということで、転居予定がお二人、自宅から通う予定がお一人ということで計算しています。

山田伸幸副分科会長 世帯の中で学生だけ生活保護から外れると、今の説明からするとそういうことなんですよ。今までの私の認識では世帯全員が生活保護の対象になると思っていたんですけど、これ世帯分離をされるということですか。

坂根社会福祉課主査 今おっしゃるとおりに世帯分離という形になっています。

吉永美子分科会長 生活保護法で決まっているんですか。

坂根社会福祉課主査 生活保護法で決まっています。

吉永美子分科会長 歳出全般ではありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）職員入替えのため、4時30分まで休憩します。

午後 4 時 27 分 休憩

午後 4 時 32 分 再開

吉永美子分科会長 それでは休憩を閉じまして、民生福祉分科会を再開します。
審査番号 5 番に入りたいと思います。執行部からの説明をお願いします。

別府子育て支援課課長補佐 子育て支援課関係分について説明します。42、
43 ページをお開きください。1 目保健衛生総務費、23 節償還金、利
子及び割引料、償還金のうち 87 万 90 円は、平成 29 年度未熟児養育
医療給付費負担金の精算に伴う返還金です。

尾山健康増進課長 続きまして健康増進課分について説明します。子育て支援
課から説明がありました償還金 91 万 4,000 円のうち 4 万 3,000
円の増額分は平成 29 年度に行いました健康増進事業の精算を行った結
果、健康診査費におきまして既に交付されていた補助金額が実績額を上
回っていたために、県に返還するものです。続きまして 4 款衛生費、1
項保健衛生費、2 目予防費について説明します。23 節償還金、利子及
び割引料の償還金 3,000 円の増額は平成 29 年度のポリオ二次感染
の予防接種事故による健康被害救済事業の精算を行った結果、既に交付
されていた補助金額が実績額を上回っていたため県に返還するものです。

木村環境課長 続きまして歳出の 42、43 ページを御覧ください。4 款衛生
費、1 項保健衛生費、3 目環境衛生費、11 節需用費のうち、燃料費を
117 万 9,000 円増額補正するものです。斎場運営管理費として小
野田・山陽斎場で使用する燃料費ですが、灯油の価格の上昇によるもの
です。当初 331 万 7,000 円を見込んでいましたが、実際に見込み
直しまして 449 万 6,000 円を想定しています。

続きまして 46、47 ページです。4 款衛生費、2 項清掃費、2 目塵
芥処理費、13 節委託料のごみ処理施設運転管理業務委託料のうち、
1,320 万 6,000 円を減額するものです。これはこのたび平成
30 年 10 月から 33 年 3 月までの環境衛生センターの運転管理者の入
札において今までと同じ業者である株式会社日本管財環境サービスが落
札したため、新規の業者となった場合を想定していました引継ぎ期間分
の委託料が不用となったことから減額するものです。続きましてその一

つ下にあります18節備品購入費のうち機械器具費を780万4,000円減額補正するものです。これは9月議会の際に議案として挙げました環境衛生センター隣接の小野田処分場において使用する油圧ショベルの購入に伴う入札減によるものです。これに伴いまして歳入の16、17ページになりますが、21款市債、1項市債、3目衛生債、2節清掃債が590万円の減額となっています。これは780万4,000円のうちの75%に相当するものが減額になったということです。

それでは債務負担行為についてです。7ページを御覧ください。第2表、債務負担行為補正のうち上から4段目の斎場指定管理者委託料です。これは議案第102号山陽小野田市斎場の指定管理者の指定に係る委託料です。指定の期間は新火葬場の供用開始予定日である平成31年7月1日から平成36年3月31日までの4年9か月です。指定管理料につきましては消費税込みで31年度が約1,789万円で、平成32年度から平成35年度までが各年約2,424万6,000円です。合計1億1,417万5,000円を限度額として設定するものです。

吉永美子分科会長 執行部からの説明が終わりましたので、質疑を受けたいと思います。42、43ページ。

山田伸幸副分科会長 斎場の灯油燃料についてですが、年間契約とかはしていないのでしょうか。

木村環境課長 こちらは財政課を通しまして年間の契約を結んでいます。

山田伸幸副分科会長 年間契約をしたにもかかわらず上昇があるというのはどういうことでしょうか。

城戸市民部長 当初予算のときは財政課で単価契約をしていますので、その単価をもって契約をしていますけど、年度中に単価の見直しがありまして、このたび灯油代が大幅に上昇がありましたので、補正させていただくというものです。

吉永美子分科会長 46、47ページ。

大井淳一郎委員 油圧ショベルが例のあれなんですけども、お蔵入りというの

はよくないんじゃないか、活用できないんじゃないかという意見もあるんですが、これは結局どうなるんでしょうか。今まで使っていたやつを使えるものは何かどこかに売るとか、その方針です。

木村環境課長 油圧ショベルですけども、現地で見ていただいたかと思いますが、キャタピラーの部分のところが非常に損傷が激しいという形で、こちらは販売業者にも数社確認しましたが修繕をするほうがかなり高いと。聞くところによるとそれが1,000万円を超えるという話もお聞きしています。それと今の状態をそのまま続けて乗るということだけは是非ともやめてほしいということもありましたので、こちらにつきましては最終的にちょっと売払いで取っていただくようなところがないかもしれませんので、鉄くずになろうかと思っています。

大井淳一郎委員 部分部分でも活用できないということですかね。もちろん車体としては使えないということですが。そこを確認したいと思います。

木村環境課長 その中だけをという詳細な確認までは取っていません。ショベル部分とか。今も全体的なものが乗車する部分のところも相当激しいですので、後ろに電気ものを抱えていますがそちらの形状もほかの油圧ショベルとは多少形状が違いますので、うまく活用できないというような形になっていると思います。

吉永美子分科会長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）債務負担行為補正とありましたが、これは議案112号で関連で出ていましたので、よろしいですね。先ほどのまだ質疑を終えていないところの確認が取れたということですので、執行部からの回答をお願いします。

川崎子育て支援課長 先ほど正確な回答ができずに大変申し訳ありません。今確認をしました。リースについては、確かに協議をさせていただいたんですが、エアコンのリースについては13年のリースというのが通常のもので、例えばそれを短期間、3年等でリースする場合には、13年の経費を3年で割った金額になるということでした。ですので、その場合には新たに整備するのと金額的に変わらないという状況があります。それでも近辺で幾つかの業者に一、二年のリースが可能かということをお願いしていたんですが、一、二年でリースができる業者はこの近辺に

はなかったということです。ということでこのたびは新設ということで進めたいと思っています。270万円の積算根拠なんですけども、来年の夏に間に合わせるために早期に実現したいというところで、このたび12月議会で急ぎょ挙げさせていただきましたので、きちんとした資料をお出しできるような積算はしていないということです。これまでの実績等を基に本当に概算ということで挙げさせていただきました。これからきちんと積算をしまして、正しい金額の入札、契約になろうかと思えます。その辺のきちんとした積算資料をお示しできないのは大変申し訳ないと思っていますが、今の状況を踏まえて来年の夏までの早期実現に向けて、概算で挙げさせていただいたというところで御理解いただきたいと思っています。それと下津保育園の施設について。

別府子育て支援課課長補佐 はめ込みタイプかどうかということと言うと、はめ込みタイプではないと。ただ一般的な家庭用の形状のものでもない。よくある天井からぶら下がっている平べったい大型のもの、園長が見る限りこれは業務用じゃないんだろうと言われていましたが、平べったい、天井からぶら下がっているハイパワーのものが付いてあるということでした。

吉永美子分科会長 今回の2点について質疑はよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは議案第90号につきましても質疑を閉じたいと思います。それではこれをもちまして一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を閉会します。お疲れ様でした。

午後4時45分 散会

平成30年12月5日

一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会長 吉 永 美 子